

ような試合の展開になるのか予想がつかない思いでした。

- 先鋒 高校生
- 次鋒 大学生
- 5将 18歳以上の者

- 中堅・3将 (高校生・大学生除く) 30歳以上の者
- 副将 40歳以上の者
- 大将 50歳以上の者

大将になる選手は、実戦から離れている選手が多いです。再び全国大会の選手となり、試合勘や気持ちを作り直すのに苦労されたことと思います。

岐阜県チームは、二回戦からのスタートです。七人制ということもあり、初戦が始まるのが正午過ぎです。アップから長い時間待つことで、選手のコンディション、モチベーションが心配されましたが、選手たちは目の前の試合に集中していました。

初戦は、長野県と代表戦までもつれ勝利した山梨県です。先鋒、次鋒と勢いのある試合をしてチームの流れを作ってくれました。その後五将から三将が勝ち、勝負が決まりました。四勝一敗二分の快勝でした。このままの勢いに乗りたいたところでは。

三回戦は大分県です。大将の「私たちは挑戦者！」という声かけで、全員が気を引き締めて臨みました。しかし、先鋒と次鋒が敗退し、五将もあと数秒のところまで一本取られ苦しい展開になりました。ここで中堅吉田選手が二本勝ち。続く三将竹村選手も二本勝ちと踏ん張り、岐阜に流れが向いてきたと思われましたが、

結果二勝四敗一分で敗退という結果に終わりました。

試合後は、それぞれ自分の課題を振り返り、お互いに反省点を出し合っており、長い間話し合いが続いていました。負けを受け入れ、個人やチームとしての課題を振り返ることは大事であり、次への大きなステップに繋がることであると思います。来年はこの悔しさを晴らす、強い岐阜の試合が出来ることを期待します。今後、諸先生方のご指導、仲間の皆様の応援をお願いします。

- 選手
- 先鋒 高瀬 円香 (済美高校)
 - 次鋒 山下 璃子 (順天堂大学)
 - 5将 阿部 なるみ (刑務官)
 - 中堅 吉田 沙紀 (刑務官)
 - 3将 竹村 奈緒美 (会社員)
 - 副将 中川 節絵 (教員)
 - 大将 荻田 ひろ美 (教員)



女子岐阜県チーム

試合結果

2回戦

	先鋒	次鋒	5将	中堅	3将	副将	大将	勝敗
岐阜	高瀬	山下	阿部	吉田	竹村	中川	荻田	9/4
山梨						中川		3/1

3回戦

	先鋒	次鋒	5将	中堅	3将	副将	大将	勝敗
岐阜	高瀬	山下	阿部	吉田	竹村	中川	荻田	4/2
大分								5/4

全日本選手権に出場して

中村圭作



令和四年十一月三日、日本武道館において開催された第七十回全日本剣道選手権大

会に岐阜県代表として出場させていただきました。

五千人での有観客での開催ということで、盛り上がりや熱気が以前のように戻ってきたことを嬉しく思いました。

一回戦の相手は、東京都代表の安藤選手でした。昨年まで北海道警察に所属し、今年からは母校の大学で教員として勤務されている選手です。過去には本大会での上位入賞や世界選手権優勝、今年の教職員大会でも優勝するなどし、実力実績共に申し分ない有名選手です。

組み合わせが決まり、対戦相手が安藤選手と聞いて、私はとてもワクワクした気持ちになりました。普通なら強い選手と当たりたくないと思うのが常ですが、それ以上に優勝候補の安藤選手と最高の舞台で戦える喜びの方が大きかったです。

安藤選手と戦うにあたり、私は「心に決めていたことがあります。それは、『自分から攻めて技を出す』ということです。これには大きな理由が二つあり、一つは安藤選手が非常に攻撃力が高い選手だからです。全ての技を非常に高いレベルで繰り出してくる相手に対し、受けに回れば勢いに飲まれてしまうのが危惧しました。

もう一つの理由は最高の舞台で試合ができるのだから、後悔のない剣道をしたかったからです。防衛ばかりして、技を出さずに終える事だけは避けたいです。結果的に二本取られて負けましたが、勝負にいったところですので後悔はありません。

今回の経験は私の剣道人生において大切な財産、宝物となりました。まだまだ弱輩者でありますので、今後とも皆様にはご指導の程宜しくお願ひ致します。